

関東平野の北東に位置する筑波山は、標高こそ1000mにも満たない低山ですが、独立峰なので遠くからも目立ちます。群馬県の高崎市からも見え、よく晴れた日に高層ビルの展望台などに上れば、都内からもはっきり視認できます。しかし筑波山の魅力は、その麓に近寄ってはじめて実感できます。筑波山を描くのは久しぶりでした。もう一度出かけて、いろいろな方位から一気に十枚ぐらい描きたいです。



下絵線描です



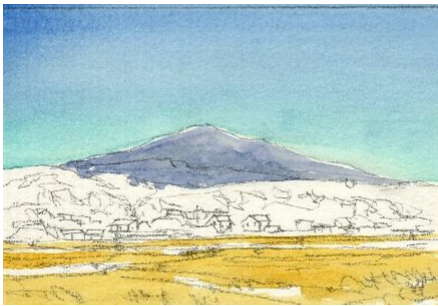
これが完成した絵です



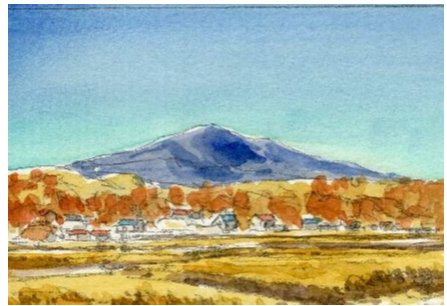
1、空から描きます。空は「ホリゾンブルー」「パチダーブルー」「ウルトラマリン」の3色を使っています。地面(田んぼ)はまずイエローで塗っておきます。



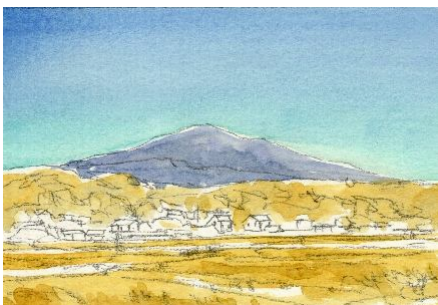
4、画面左側から光が当たっていると意識して、山肌にも影をつけます。背後の樹木も少しずつ塗り重ねます。



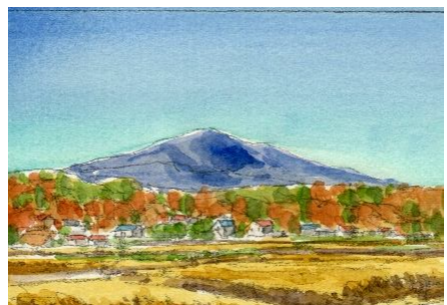
2、主題の筑波山は、青紫色で塗ります。筑波山に限らず、遠くの山は基本的に青紫色が無難です。



5、手前の田んぼも少しずつ影をつけていきます。秋の樹木は、イエロー→オレンジ→赤→茶→紫の順に秋が深まっていきます。



3、民家の背後の森も、まずはイエローで塗っておきます。最初から濃く仕上げようとするほうが良いです。



6、最後に緑を入れます。これは常緑樹です。緑を入れると画面が引き締まります。最後に空の雲(巻雲)や電柱を描いて完成です。